

セブ・プログラムアンケートのお願い

この度はCECのプログラムにご参加いただき、ありがとうございました。

このアンケート用紙にご入力・記入のうえ、写真を数点CECまでメール添付にてご提出下さい。
ご郵送の場合は、写真を同封のうえ、ご記入頂いたアンケートと共にご送付下さい。
薄謝ではございますが、商品券をお送りさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

(パソコン入力をご希望の方はお知らせ下さい。メール添付にてこの用紙をお送りいたします。)
どれだけ長くなっても大丈夫です。スペースが足りなければ増やしてご記入下さい。

参加期間： 2013年8月22日 ～ 9月16日 2週間

参加動機：

- ① 将来国際協力の場で働くことを選択肢として考えていたこと②外国の子供たちと触れ合う機会に魅力を感じたこと、の2点が主な理由です。私自身が海外でボランティアや支援活動をする生活に耐える、慣れることができるのか試したかったという理由もあります。

ボランティア活動に関して：

活動先施設の名前

Missionaries of Charity Pasil, Cebu

具体的な活動内容とスケジュールを教えてください。時間に関してはおよそで結構です。

木曜と日曜以外の週5日、2時から5時までの3時間ほど、孤児院の施設でボランティアしました。

内容は主に、「子どもたちと遊ぶ」ということです。他には彼らの食を手伝う、お皿洗いする、床を掃除する、洗濯物をたたむもありました。でもほとんどの時間は子供たちと遊ぶところに全力を費やしていました(^_^;)

活動中のエピソード：難しかったこと、楽しかったこと、感心したこと、困ったこと等、何でもお聞かせ下さい。

私はもともと子供は好きなのですが日本では全く子供達に関わる機会がなく、どのように接したらいいかボランティアする前は不安を少し抱いていました。

しかし実際行くと、全くそんな小さなことは問題ではなかったと気づきました。フィリピン人の子供達35名は本当に元気いっぱいです。そして本当によく笑います。信じられないくらい人懐っこいです。(笑) 彼らは初日から私に警戒することなく遊んで遊んでとお願いしてきました。そして3時間経つ頃には私がヘトヘトになる、ということが毎回でした(笑)

本当に疲れる、けれども本気で笑って、素の自分でいられるこの子供たちとの時間は、日本で大学3年生をやっている私にとってはとてつもなく貴重な体験でした。

困ったことといえば、クーラーなどはもちろん無いので毎回汗だくになっていたことです(^_^;) 自分で水分補給をしないと夏は特に危ないと思います。

また、悲しい一面に遭遇することもありました。彼らは孤児院にいるけれど大多数の子には両親がいました。毎週火曜のみ面会日だったのですが、子どもが親と離れ再び施設に戻らねばならぬ時にずっと泣き止まない彼らを見ていて、親がいるのに病気・貧困が原因で一緒に暮らせない子どもたちの悲しい現実を目の当たりにしました。

私が出会った人たち、子どもたちは毎日生きるということに必死です。正直言うと未来はあまり見えません。ただその日精一杯生きる彼らを見て、自分の今までの生き方を見直しました。

特に子供たちと遊ぶため、又は何かを教えるために、事前に用意されたこと・教材等ありましたら、参考までに教えてください。

子どもたちは歌や手遊びゲーム（あっちむいてホイなど）を楽しそうにやっていました。また「せっせっせーのよいよいよい」というフレーズを多くの子ども達が知っていたので今まで多くの日本人ボランティアの方とこうやって遊んできたのだなということがわかりました。

生活面に関するご質問：

滞在先ホテルについてはいかがでしたか。

湿気がすごいです本当に。

それから窓があるけど目の前が壁で全く日光の入ってこない部屋でした。なのでベランダに電気がついていました。理由としてはペンションのある地域があまり治安の良い場所なのか、ただ単に泥棒予防なのか、窓がむき出しになっている構造はありませんでした。

フロントのみネットが使えたのでほとんどの時間をそこで過ごしたのですが、常にドアを開けているのでいろんな生き物が入ってきました（笑）猫、犬、ゲコというトカゲはまだ無害なのですが、小さなアリ、蚊には本当に参りました。虫刺され予防をしていなかったのがこの滞在中最大の反省点で、右足だけで蚊に35箇所以上刺されていました(^_^;)

滞在先ホテルからボランティア先までの移動手段（タクシーでの所要時間・料金など）を教えてください。

タクシーで片道30分弱（100ペソ前後）

食事はどのようにしましたか、料金は？

私は残念なことに好き嫌が多いことと、オイリーな食べ物が嫌いなのでフィリピン料理は全く合いませんでした。おかげで毎日食べ物探しが大変でした。基本的にお金がないので昼はパン（40ペソ前後）、夜はピザハット（100ペソ〜）やjolibeeでスパゲティ+ポテト+ジュースセット（65ペソ）で過ごしてました。要するにファストフードで大部分過ごしてたことになります。

朝ごはんは宿泊所でするので買いに行く必要はありませんでした。

その感想をお聞かせ下さい。

カオハガン島はセブ島から船で30分ほどのところにある人口600人、最長の場所でも400mしかないというとっても小さな島でした。島オーナーが崎山さん夫妻という日本人の方だったのも驚きです。聞くところによるとここは周りからは日本人の島と呼ばれるほど日本人観光客が多いようで年間1800人ほど訪れるとおっしゃっていました。

島での生活は私は人生初だったので都会の中で普段生きている私にとっては新鮮なことだけでした。また島には島民の方たちの人の暖かさとゆったりとした時間で溢れていました。宿泊は島民の方たちが作ったロッジに泊まりました。最も驚いたことは部屋から見える景色が綺麗なセブの海!!最高すぎました(^)30m先にはビーチがあり、どこまでも綺麗で透き通った海が続いていました。島の周りの海は浅く、隣の島まで歩いていくこともできるそうです。島外の高校、大学から帰ってくる子どもたちが海の中を歩いて帰ってくる姿には驚きました(笑)

また夕方と朝には島民の方たちが食べ物を探しに海にでてきます。彼らは主に貝やウニを見つけて食べていました。他にも気持ちの悪い謎の生物が海にはたくさんいて、その場で出会った島民の方が生物の紹介をしてくれました。でもほぼすべて無害の生物なので心配はいらないです。生物の多様性が守られている海を初めて見て海洋生物に興味を持ちました。ちょうど同時期に海洋生物探求のために日本から大学生と教授のグループが訪れていて、一緒に夜の海の生物調査についていろいろな知識を教えてもらえました。ヤドカリは夜行性だということや、海ホタルが光る様子は貴重でした。そのまま夜の砂浜に寝転がって、夜空を見上げると天然のプラネタリウムが広がっていました。あれはいつまで見ても飽きない綺麗な星たちと夜空でした。そしてなんとといってもこの島の素晴らしい景色は夕日と朝日の海です。海に映る空と雲を見ていて、天国にいるのかな、と錯覚するくらいの綺麗な景色に出会えました。絶景が大好きな人には是非おすすめです。

島の醍醐味のもうひとつは島民の方たちとの関わりです。一人歩いていると普通に声をかけてくれて、気づけば1時間以上話していたり(笑)だんだんと仲間が集まって友達が増えてたり(笑)。島という小さなコミュニティに住んでいるからこそ生きるために人とのつながりが大切なのだらうと感じました。今何時?と私が聞いた時に太陽の位置をみてほしい15時!と答えてくれたときは驚きました(笑)あとは島民の大人も子どもも混ざって一緒にバレーボールの試合を結構真剣にやったりもしました。体は真っ黒に汚れましたがとても楽しかったです。こういうのんびりしたスタイルが私はとても好きです。

次に体験ダイビングについて少し書くと、カオハガン島の近くには崎山さんが指定したサンゴ保護地区という綺麗な珊瑚礁と魚たちが集まる区域があります。私は今回そこで45分ほどのダイビングをさせていただきました。鈴木さんというインストラクターの方がついていたので、何も心配することなくできました。そこには、今まで見たことないようなきれいな模様の熱帯魚たちがたくさんいたり、直径3mほどある大きな珊瑚礁があったり、魚の群れの中に入っていたり、水中写真を撮ってもらったり、今まで経験したことないような海の世界が広がっていました。この感動は実際に体験してもらおうことでしか伝わらないと思います。是非機会があるのであれば体験することをおすすめします。

カオハガン島に住んでいる方は優しく、面白く、すぐに誰でも仲良くなれると思いました。こんな素敵な人と景色に出会えるなんて良い意味で予想外でした。この島のリピーターが多い理由も今なら納得できます。私は旅することが好きでいろいろな地を巡ってきましたが、もう一度訪れたいと思える場所にはあまり出会ったことがありませんでした。しかしこの島はまさに是非人生のなかでもう一度訪れたい、と思える素敵な島でした。確かにお金はかかるし、インフラもそこまで整っていないので不自由に思う場面も少しありましたが、2日目には気にならなくなっていました。それでも訪れる価値はあると私は思います。

オプションのプライベート英語レッスンを受けられた方へ

レッスン内容はいかがでしたか。

私は IELTS というテストのために英語を勉強していたので、その試験問題集をもって行ってその形式で英会話をやってもらうなど、先生方には柔軟に対応していただきました。とてもありがたかったです。しかし英会話はやはり毎日やらなければ伸びないものだと痛感しました。8回しかレッスン日がなかったのでなかなか結果を感じ取るのは難しいかなと思います。

どれくらいの時間数、レッスンを受けられましたか。

1日2時間×週4日×2週

ホテル又はボランティア先から英語学校まで、どのように移動されましたか。料金は？

タクシー30分程度 130ペソ前後

今後このプログラムに参加する人たちの為に：

持参したほうが良いもの（生活のうえで、又ボランティア活動のために）

虫除け対策スプレー

ハンガー

正露丸 など胃薬・風邪薬

ボランティア先での心得(注意すべき点、やってはいけない事、やったほうが良かった事など)

タクシーを使っただけの移動がほとんどだったのでそれについて1点だけ。

急いでるんだ (I' m in a hurry)、というと近道してくれたり。おかげで短い距離で早く安く着くということが度々ありました。

逆に何も言わないとガソリンスタンドに入って給油し始めたりします(笑) もちろんその間にもメーターは上がって行きます(^_^;))

衛生面、食べ物、飲み物などで気をつけたほうがよいと思ったこと

衛生面

私は常に手の消毒液を携帯し、食事の前は使っていました。

次にこれは衛生面の問題かはわかりませんが、とにかく小アリがたくさんいます。私の友達の部屋は穴からアリが大量に出てくるといっていました。防ぎようは無いようです。

最後に特に女の子にですが、フィリピンの水は硬水なので髪の毛を洗うとすごくギシギシになります。海に入ってもギシギシになります。しっかりトリートメント剤は持っていき毎日ケアすべきと思いました。

食べ物、飲み物

飲み水は買うしかありません。でも安いので問題なし。食べ物はスーパーにある食品は賞味期限を確認して買うこと。

食事に関して、フィリピンは肉か魚。でも肉料理の方が多く、さらに脂っこいです。味付けは甘酸っぱい系です。米はぱさぱさなので日本の米が好きな人はあまり好きになれないと思いました。私は脂っこい料理が嫌いなので毎日食探しが一番大変でした。大型ショッピングモールでよく食べていました。

最後に、今回海外でのボランティアプログラムに参加しての感想をお願いいたします。

この度のフィリピン滞在を通して、私はたくさんの人、子どもたちに会いました。その中でたくさんの笑顔と出会った半面、児童労働やストリートチルドレン、孤児の子などにもたくさん出会いました。家族からの愛を受けられない子がこんなにも多くいる現状だったなんて知りませんでした。

この経験を通し、私は将来、時間はかかっても国際協力の道に進み、弱い立場にいる子供たちを支援したいと考えるようになりました。この悲しい現状を見て無視することなんてできません。そのために今学生の私ができることは、国際協力、開発、人間の安全保障、子どもの権利条約などのことについて一生懸命勉強することだと考えています。

もちろん国際協力の社会はそんな甘いものではないことも聞いています。なぜ日本国内にも問題を抱えた人は大勢いるのに海外の人を助けるのかという声もあります。今の私の答えとしては、助けを求める人を助けることは国内国外で区切って考えることではない、私が役に立てる場所があればどこの人でも助けたいと考えています。それに逆に考えればなぜ国内の人は助けるのに国外の人は助けられないの？私たちにはそれができるのに、ということも言えると思います。問題は国ではなくて人なのだと思います。あまり説得力ある説明になりませんがこれが私の考える国際協力です(^_^.)

ご自身がフィリピンで撮られた写真など、お貼り頂き、その写真の説明文も加えて下さい。
いただいた写真は今後参加される皆さんの為に利用させていただきます。さしつかえない範囲で結構
ですので、現地の人たちとの交流している場面などいただけましたら助かります。よろしくお願
いします。(お写真は貼り付けず同封又は、メールでも結構です。)



これは Missionaries of Charity
での子供達との写真です！我なが
ら良い写真がたくさん撮れたと思
ってます





最終日に孤児のみんなにあげたプレゼントとそれを持つ Maritess (いつも孤児院まで一緒に行ってくれた人)



セブでの案内人 Duane です。本当にお世話になりました。フィリピンのことをなんでも教えてくれて勉強になりました。



カオハガンで出会った島民の皆さん。
彼らは日本語も日本語の歌も驚くほ
どうまく、すぐ仲良くなれました。



カオハガンの海を撮った中で最も綺麗だと思う写真です。
いつも空が海に反射して空が二つあるように見えるのです
が、この日はレインボーに色がかっていて特別綺麗でした。

ご協力ありがとうございました。

ご参加時年齢：◎20歳以下、20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳以上

性別： 男性 ◎女性 (該当箇所に○をお願いします。)